



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel +81 (0)3 6434 7010

fax +81 (0)3 6434 7011

web www.takaishiigallery.com

email tig@takaishiigallery.com

木村 友紀 「Reception」

会期：2019年8月3日（土）－9月7日（土）〔夏季休廊：8月11日 - 19日〕

会場：タカ・イシイギャラリー 東京

オープニング・レセプション：8月3日（土）18:00－20:00

タカ・イシイギャラリーは木村友紀の個展「Reception」を開催いたします。1995年のギャラリー初個展以来、今回で8回目の個展となる本展では、立体作品5点で構成する新作インスタレーションを発表いたします。

タカ・イシイギャラリーの六本木スペース、備え付けの重厚な黒壇のカウンターテーブル、黒いモルタルの床、L字の空間と奥から注ぐ自然光、外の大きな鉢植え。これはその空間自体を空間の中に反復する試みである。75%、50%、25%にそれぞれ縮小したカウンターテーブルのミニチュアは、オリジナルと同じ品質で、その為に全く別の機能性が示唆されるかもしれない。あるいは縮小される度に、空間やその意味さえも濃縮された象徴的なオブジェになる、その一連の過程であるとも言える。遠近法のイリュージョンによって、部屋全体がいつもより奥深く、より一層入り難く感じられることを想定している。

木村友紀 1971年京都市生まれ。1996年京都市立芸術大学にて修士課程修了。ベルリン在住。

「California-Pacific Triennial」オレンジカウンティ美術館（ニューポートビーチ、2017年）、「OCEAN OF IMAGES: NEW PHOTOGRAPHY 2015」ニューヨーク近代美術館（2015年）、第30回サンパウロ・ビエンナーレ（2012年）、「Mount Fuji does not exist」Le Plateau / Frac Ile-de-France（パリ、2012年）、「風穴 もうひとつのコンセプチュアリズム、アジアから」国立国際美術館（大阪、2011年）、「MOT コレクション Plastic Memories - いまを照らす方法」東京都現代美術館（東京、2010年）、「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004」森美術館（東京、2004年）、第6回イスタンブール・ビエンナーレ（1999年）など、国内外の多くのグループ展に参加。主な個展として「Inhuman Transformation of New Year's Decoration, Obsolete Conception or 2」CCA Wattis Institute（サンフランシスコ、2016年）、「無題」IZU PHOTO MUSEUM（静岡、2010年）、「POSTERIORITY」大和プレスビューイングルーム（広島、2009年）などが挙げられる。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー 展覧会&プレス担当：増山貴之

〒106-0032 東京都港区六本木 6-5-24 complex665 3F tel: +81 (0) 3 6434 7010 fax: +81 (0) 3 6434 7011

e-mail: tig@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com

営業時間：11:00-19:00 定休日：日・月・祝祭日